

パーキンソン病、パーキンソン病類縁疾患における診断及び治療バイオマーカーの同定

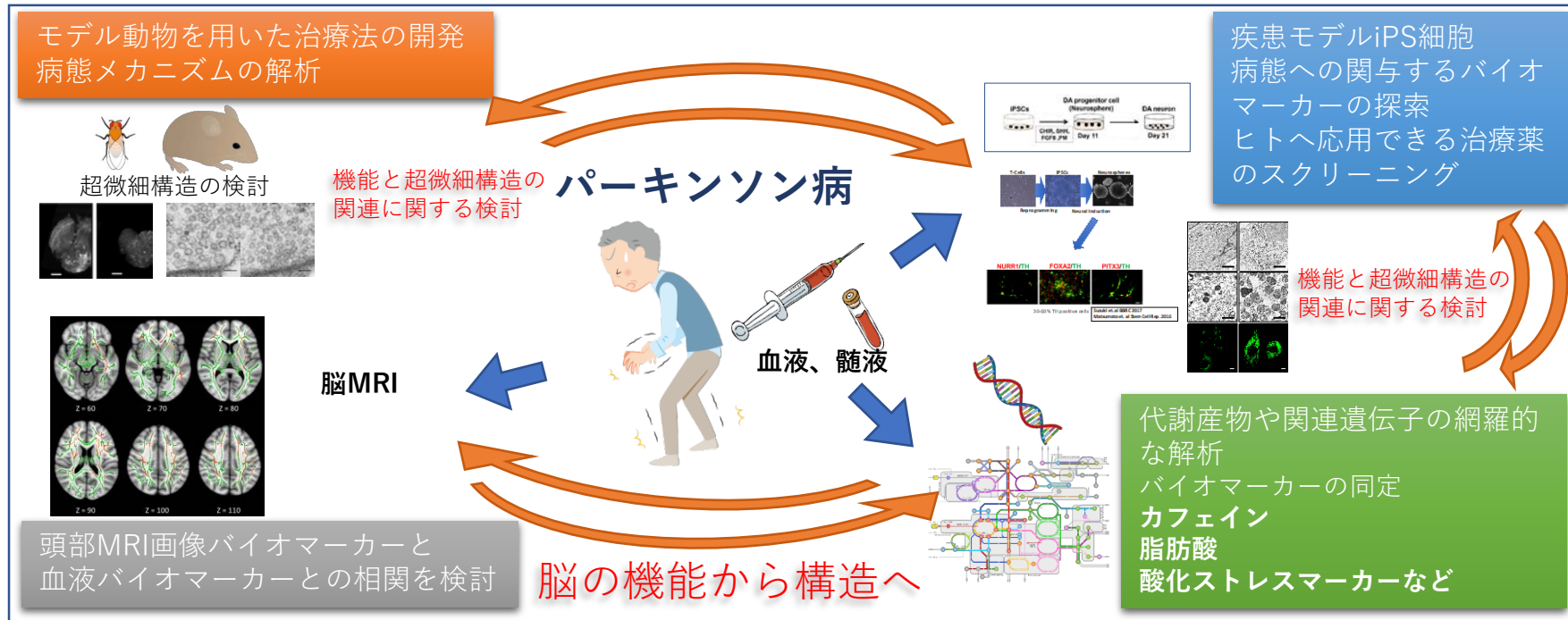
服部 信孝 (はっとり のぶたか) 順天堂大学・大学院医学研究科・神経学・教授

昭和60年 順天堂大学医学部卒業、平成2年 名古屋大学医学部生化学第二国内留学、平成6年 順天堂大学大学院医学研究科 修了 博士(医学)、平成18年 同大学医学部神経学講座教授、老研センター 副センター長 現在に至る。

【主な受賞】平成14年度 第39回ベルツ賞1等賞、平成15年度 日本神経学会賞、平成16年度 トムソンサイエンティフィック社Research Fronts Award受賞、平成24年度 文部科学大臣賞 科学技術賞(研究部門)、平成29年度 日本神経学会 榎林賞
<http://www.juntendo.ac.jp/graduate/kenkyudb/search/researcher.php?MID=1525>



パーキンソン病及びパーキンソン病類縁疾患は難治性神経変性疾患である。多くは孤発であるが関連遺伝子や原因遺伝子が報告されており、発症に遺伝的素因と環境因子が重要である。本研究では、病態に関連するバイオマーカーを同定し、患者iPS細胞や動物モデルなどを用いて、の細胞や組織の変化を確認し、関連遺伝子及びバイオマーカーがどのように病態に関わるのかを見出す。最終的に治療の確立を目指すことを目的とする。



参画メンバー

- 齊木 臣二 大学院医学研究科・神経学・准教授
- 波田野 琢 大学院医学研究科・神経学・准教授
- 佐藤 栄人 大学院医学研究科・神経学・准教授
- 常深 泰司 大学院医学研究科・神経学・准教授
- 福原 武志 大学院医学研究科・神経学・准教授
- 王子 悠 大学院医学研究科・神経学・助手
- 森 聡生 大学院医学研究科・神経学・助手
- 今居 譲 大学院医学研究科・パーキンソン病病態解明研究講座・前任准教授
- 船山 学 大学院医学研究科・老人性疾患病態・治療研究センター・准教授
- 赤松 和土 大学院医学研究科・ゲノム・再生医療研究センター・教授
- 石川 景一 大学院医学研究科・ゲノム・再生医療研究センター・非常勤助教
- 古屋 徳彦 大学院医学研究科・オートファジー調節化合物探索研究講座・助教

孤発性や家族性のパーキンソン病患者さんに協力していただき、血液や髄液の検体からバイオマーカーを探索している。このマーカーがMRI画像と関連するかを検討し、病気に関連するマーカーの同定を試みている。同定したマーカーは患者由来iPS細胞や動物モデルなどを用いて病態との関連を解明し治療法の探索を行う。

関連論文

1. Fujimaki M, Saiki S, Li Y, et al. Serum caffeine and metabolites are reliable biomarkers of early Parkinson disease. Neurology. 2018 in press
2. Saiki S, Hatano T, Fujimaki M, et al. Decreased long-chain acylcarnitines from insufficient β -oxidation as potential early diagnostic markers for Parkinson's disease. Sci Rep 2017 Aug 4;7(1):7328.
3. Hatano T, Saiki S, Okuzumi A, et al. Identification of novel biomarkers for Parkinson's disease by metabolomics technologies. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2016;87:295-301